

「村山さくらん」 歓迎攻め

元首相の
講演会
……
沸きに沸く

五月二十五日、元首相、村山富市氏をお招きしての辞達学会主催の講演会が開かれた。写真。演題は「総理大臣という仕事」。このテーマのもと、「トンチンカン」を一目見ようと多数の学生が詰め掛け、村山さんの熱い語り聞き入った。

講演は、主に中大生にメッセージを伝えるような感じで進められた。村山氏は開口一番、「教室に入つて若さにあふれた拍手に圧倒されました。若さっていいですね。確かに、七百部つくったパンフがあつたという間になくなってしまったほどの人気ぶり。立見もかなり出ている。」講演の冒頭、村山さんは、首相まで登りつめた「巡り合わせと運命」を強調。その中で、「人間の作用を超越した巡り合わせを生かすも殺すも本人次第。そのためにも何かの目標を決めて、その達成のために一生懸命、毎日毎日、階段を登る努力が大

切だ」「今を大事にすれば明日がある。自分の人生を振り返ってそう思う。そういう気持ちで頑張つてほしい」と中大生にエールを送った。

村山さんは現在七十五歳。自分自身の戦争体験などを踏まえて「私たちが生活できるのは平和であるからだ。世界各地で紛争が行われているが戦争は絶対に行つべきではない」と平和の大切さと尊さを強調。21世

紀は力でなく、対話と協調で平和を創り出すべきだ」と訴えた。

さらに村山氏は、首相辞任後行つた韓国・金大中大統領との会談での金氏の言葉を引用し、「もう力で解る時代ではない。どんな困難があつても、辛抱強く、粘り強く、対話でもって外交に臨むべきだ。各国の体制の違いを認め合つて平和共存

「若さ・今」を大切に

ができる環境を創ること。それが私の念願です」とおっしゃった。

村山氏の平和創造論は対話、協調、共存、信頼、相互尊重に集約されていた。こうした考えを行動に移すのは私たちの世代だ。そういった意味で、このメッセージを私自身、重く受け止めた。

講演は「若さ」と「平和」という



話を中心。話の最後に、村山氏は故松下幸之助氏の言葉を借り、「みなさんは輝いている。いくらお金があつても、地位があつても得られないものが若さだ。その若さを大切に、そして「今」を大事にして生きてください」と締めくくった。そんな中、首相時代のエピソードも幾度か披露。首相辞任後の新首相指名日に、議場に入るまでは三十人くらいの記者に囲まれていたのに、出てきたら一人だったことを紹介。「これは首相を経験しないとわからんことですよ」と語ると、会場は笑いに包まれた。

講演会終了後、村山氏が手を振りながら出てくると、一斉に歓声と拍手の嵐。スズランテープで車の道幅を確保していた職員の方が「このテープは意味がない」と叫ぶほどだった。

村山氏は中大生に若さの大切さと、その勢い、「今」の重要性、平和の尊さを教えてくれた。村山氏との出会いという「巡り合わせ」の意義を考え、何かをつかみ取り、活かしていくことが重要だと思つた。

(学生記者・初鹿 真一)